

PRESS RELEASE

2006 年 1 月 17 日

株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、H-IIA ロケット打ち上げの高品質ライブ映像を CATV 向けに配信

-- DV over IP 技術による高品質映像伝送への取り組みとして、1 月 19 日にライブ映像を配信 --

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ、本社: 東京都千代田区、代表取締役社長: 鈴木 幸一、コード番号: 3774 東証マザーズ) は、デジタルビデオ (DV) 信号を圧縮することなくそのままインターネット上で配信することを可能とする DV over IP 技術を利用して、宇宙航空研究開発機構による H-IIA ロケット打ち上げ^(*1)の高品質ライブ映像を CATV 向けに配信いたします。

今回配信する映像は、日本時間の 2006 年 1 月 19 日午前 10 時 33 分に、種子島宇宙センターから「地球観測衛星 ALOS (エイロス)」を搭載して打ち上げが予定されている「H-IIA ロケット 8 号機」のライブ映像です。今回の配信では、ロケット打ち上げ時の地上からの映像に加えて、衛星を分離する瞬間の様子など、ロケットに搭載されたカメラによる上空からの貴重なライブ映像を配信いたします。DV over IP 技術を利用することにより、従来のストリーミング技術と異なり、映像データを圧縮せずにインターネット上で配信を行うため、劣化のない迫力のあるライブ映像を提供することが可能となります。

ライブ映像は、エルシーブイ株式会社 (本社: 長野県諏訪市、代表取締役社長: 務臺 和正) などの CATV 向けに配信され、CATV 視聴者の方々は通常の CATV 番組としてテレビで視聴することができます。

また今回の映像は、カリフォルニア州にある法政大学アメリカ研究所に向けても実験的に配信される予定です。これにより、CATV だけでなく大学・研究機関への高品質映像伝送の普及を目指し、品質劣化や遅延が起りやすい日米間においても、IIJ バックボーンを介することで高品質な映像伝送が可能なことを実証します。

IIJ では昨年より、グループ会社の株式会社アイアイジェイメディアコミュニケーションズ^(*2) (IIJ-MC) と共同で DV over IP 技術を利用した高品質映像伝送の実験を行っており、2005 年 7 月にスペースシャトル「ディスカバリー号」のライブ映像を、2005 年 9 月にはマドリッドからの金環日食のライブ映像を配信いたしました。2005 年 10 月の IIJ と IIJ-MC の合併以降は、IIJ-MC が培ってきた高品質な映像配信技術を活かし、IIJ として引き続きメディア事業に注力しております。

IIJ では、今後もより多くの利用者に最高のネットワーク環境を提供し、革新的なインターネット技術の普及に努力していきます。

(*1) H-IIA ロケット 8 号機による ALOS 打ち上げの詳細については、宇宙航空研究開発機構 Web ページ内のカウントダウンサイト http://www.jaxa.jp/countdown/f8/index_j.html をご覧ください。

(*2) IIJ-MC は、2005 年 10 月 1 日に IIJ に合併されました。詳細については、2005 年 8 月 12 日付けのプレスリリース「IIJ グループの一部再編について」(<http://www.iij.ad.jp/pressrelease/2005/0812.html>) をご参照ください。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 川上、富永

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@iij.ad.jp URL: <http://www.iij.ad.jp/>